



西内野 コミュニティだより

16号

発行/西内野コミュニティ協議会 編集委員 2014. 1



第6回
西内野

もちつき大会

12月8日(日) 参加者 780名

西内野もちつき大会が780名の参加者のもと、楽しく、美味しく盛大に行われました。今年は特に、「つき手」「かえし手」「丸めもちづくり」そして「雑煮ボランティア」に多数お手伝いをいただきました。そして、高校生、中学生も手伝ってくれ、貴重な経験と伝承が出来たのではないかと思います。今後も「もちつき大会」を通じ地域の交流、地域づくりにつなげていきたいと思ひます。



参加者の感想

〈かえし手ボランティア〉

『もち』つきに参加して

内野西新町 加藤 清美さん

「もち」は生きている。米がもちになってゆく、生まれ変わっていると感しました。『かえし手』を言葉にすると、もちが生まれる時のお手伝いをする人と感しています。

〈丸めもちボランティア〉

巻高校ハンドボール部 小田 昌美さん

もちつき大会のお手伝いをさせていただいたのですが、想像以上に多くの人に来ていて驚きました。忙しかったですが充実した時間を過ごす事が出来て良かったです。

〈つき手ボランティア〉

平和台第七団地 三平 岳生さん

もちつきがあんなに重労働だったなんて!! 普段出来ない事が体験出来て楽しかったです。

〈雑煮ボランティア〉

パレットタウン西新潟 羽二生 雅子さん

新潟風の雑煮は初めてでした。とてもおいしく勉強になり、お正月にさっそく作ってみました。あまりの人数の多さにびっくりしました。

中国留学生さん

中国では餅を作る機会はないので、とても興味を持っています。餅はおいしかったです。いい体験でした。 張 博さん

タイ人留学生さんたち

感動したことは日本人の優しいさんやおばあさんなどの力が強く、元気です。いい経験をもらいました。 Natthakarn SOMSRIさん

モチ作りは初めてとても楽しかったです。世界の中でも日本の文化はとても美しいものです。このようなお祭りは私の国にはありません。ありがとうございました。 Somsak Kramchoteさん

新潟市住みよい郷土推進協議会 環境美化活動団体部門受賞

パレットタウン西新潟自治会長 春日 伯榮

新中浜町内会長 倉林 正喜

この度、新潟市住みよい郷土推進協議会から地域の環境美化活動の功績が認められ、会長表彰を受賞いたしました。

この活動は、町内全域を対象とし雑草取りも含めた一斉清掃です。自治会発足以来の継続事業で、今年で六年となりました。住民の環境美化に対する関心も高く、参加者は年々増加の一途で今年も七百名を越えました。実施に当たっては、環境部長が中心となり町内を五ブロックに分け、各ブロック長や班長の協力を得て用具の調達や配置、それぞれの役割分担などは万全な体制です。この活動は短時間ではありますが、会員同士や親子の交流と助け合いが散見される等、極めて意義のある活動です。

今後も受賞に恥じないよう、一斉清掃や環境美化啓発に取り組み、更に町の環境活動を進めていきたいと思



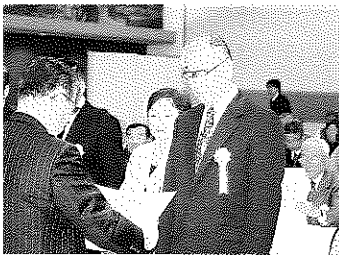
春日さん

今回の受賞に際し、当町内の取り組みの実施状況を述べさせていただきま

す。住みよい生活環境づくりの町内での事業で第一は、衛生害虫の駆除で雨水枡から発生する蚊を駆除するために公共枡と家庭枡とを区別し「昆虫成長制御剤」チャップB T錠を配布しています。またゴキブリ駆除薬剤の斡旋も実施しています。

第二は、環境美化活動においては町内一斉側溝清掃、中浜公園、小丸山公園の草刈り清掃(年二回)、老人倶楽部の会員による毎月第三水曜日のピン、缶拾い、空き地、空き家周辺の清掃活動(おたすけ隊)などの活動実績が今回の受賞になったと思つていま

す。今後も町内会全員による活動を推進し、きれいで住みよい街づくりを目指してまいります。



倉林さん

民生委員・児童委員 一斉改選にあたり

民生委員・児童委員は12月1日の一斉改選により、14名のメンバーになりました。先輩諸氏の築いてきた行跡を尊重し、伝統ある制度を努め私たちなりの活動を行い、住民の方々とともにありたいと望んでいます。今後ともよろしくお願い致します。

西内野民生委員・児童委員協議会会長 後藤 富子

No.	役職名	氏名	住所	電話番号	担当地区
1	会長 ②	後藤 富子	新中浜2丁目7-18	262-1293	新中浜町内会
2	副会長 ①	五十嵐秀子	五十嵐中島5丁目2-6	263-3840	内野西新町自治会
3	①☆	河村 勲	新中浜4丁目7-13	261-0035	新中浜町内会
4	①	藤澤 道子	五十嵐中島4丁目17-65	262-3900	内野平和台自治会の坂上
5	②☆	板井 一江	新中浜1丁目7-7	262-1497	内野西新町自治会
6	②	神立 春恵	五十嵐中島2丁目10-15	261-0147	広通江団地自治会
7	③☆	古俣世津子	内野上新町12595-3	262-4462	内野上新町自治会
8	③	稲田 欣一	五十嵐中島5丁目14-3	378-5595	内野平和台自治会の坂下
9	③	渡部久工子	五十嵐西3-11	262-1287	上原団地自治会
10	④☆	小畑 明子	五十嵐中島4丁目5-13	262-5635	平和台第七団地自治会
11	④	吉田 竹雄	五十嵐中島2丁目21-21	261-0703	五十嵐中島自治会
12	⑤	羽二生雅子	五十嵐下崎山225番地	261-0307	パレットタウン西新潟自治会
13	⑤☆	櫻井 昌子	五十嵐西24-8	262-4389	主任児童委員
14	会計 ⑤	浦澤 泰子	新中浜6丁目3-6	261-0387	主任児童委員

(注) ①地域福祉部会 ②生活介護部会 ③高齢者福祉部会 ④障害者福祉部会 ⑤青少年児童部会 ☆は連絡委員

新潟市防火連研修視察に参加して

防災防犯部部長 佐々木 巖

平成25年10月7日・8日に新潟市防火連協議会の主催で、「防災施設の見学や各種疑似体験、火災時における消火実験等を見学することにより、防災意識の高揚及び防火防災知識・技術の習得を図ることを目的に東京都での研修視察でした。

1日目の本所都民防災教育センター本所防災館(東京墨田区)は本所消防署と併設しており6階建ての大型施設で防災館職員の案内で防災シアターでの東京直下型地震をテーマの映像を見て、次に消火器を使って大型スクリーンに映し出された炎を消火する体験でした。次は暴風体験で風速30メートルの体験、ニュースや台風情報で最大風速30メートル等とよく耳にするとおもうますが、実際に体験すると非常に強い力を全身に受け立っているのも難しく、台風時には気軽に外に出るものではないと感じさせられました。

次に都市型水害コーナーで豪雨による浸水で車のドアや玄関がいかにか開けるのが難しいかの体験でした。具体的には玄関のドアは30センチ、車のドアは20センチの浸水で普通の人では開けることが非常に難しいことを体験しました。

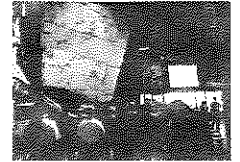


本所防災館 都市型水害体験

次は地震体験で震度7・6・5を体験、揺れた際の身の守り方や給湯器等の火を消す、揺れた後の行動等について

学びました。

2日目は東京臨海広域防災公園内にある防災体験学習施設(東京都江東区)での研修視察となりました。その施設の目的は、首都直下型地震等の大きな災害が発生の時に、都民等の避難場所及び国の要人や防災担当者等が集まって災害現地対策本部が設置される場所との事でした。ここでの体験は災害発生時72時間(自力で3日間)までを疑似体験して来ました。



そなエリア 再現被災地(商店街)

まず、午後9時に駅ビルの10階から1階にエレベーターで降りていた時に地震が発生したという想定で、テープレコーダーを預けられその指示に従ってクイズ形式でどのように行動するか回答しながら進んでいき最後にその行動で良かったかを採点される研修でした。まずエレベーターを降りると、目の前は停電で真っ暗になった商店街や転倒した建物や電柱、炎が現れ、非常に切迫感がありその中を歩いて、災害時の行動又は処置等について学んできました。

最後に、参加された北・東・中央・秋葉・西区の地区長(11名)の皆さんの防火・防災等の取り組みなど、意見交換の機会に恵まれ、大変有意義な研修がなされ西内野地区の安心・安全環境づくりに生かしていけたらと思っています。

西区地域コミュニティ協議会の視察研修会に参加して

～ 中越沖地震で被災した柏崎市の防災対応視察 ～

防災防犯部副部長 早川 雄一

12月11日(水) 柏崎市の中越沖地震での地域の避難対応と災害地の復興状況を視察した。

その結果、自主避難やその後のボランティア対応など、日頃の地域力の大切さを再認識させられた。

特に松美町内会の関谷顧問(当時会長)の話は印象的だった。

例えば、地震直後に町内の人々は自主的に一次避難場所(空地等)へ集まり、各班長が中心となって安否確認を行ったこと。

また地震3日目には全世帯に緊急アンケートを行って住民の状況・要望を把握し、保健士やボランティアの迅速な派

遣を行ったこと。

これらは常日頃の地域活動の結束の現れであり、テレビニュースでも紹介され高く評価されている。

一方、今後の課題は“真冬の防災対応だ”と地元でも強調していた。

なお、この松美町内会は地震当時440世帯36班の大きな規模であった。

以上、今回の視察結果を我々の自主防災活動に役立てたいと思います。



復興した被災地(柏崎市関崎通り)視察

活動報告

・夜間防犯パトロール

9月4日(水)から11月3日(日)までの9週間、週2回(水曜、日曜)午後7時30分から午後9時まで夜間防犯パトロールを実施し、地域住民に安心を与えています。

特に犯罪に結びつく行動・行為はありませんでしたが、防犯灯の増設を要する箇所があり、自治会等で市への設置要望をお願いしたいと思います。

・自主防災訓練

10月20日(日)雨天のため、西内野小学校体育館で午前10時から10自治町内会352名が参加し、西消防署職員の指導により、心肺蘇生法・AED操作訓練等を行いました。

・高齢者(独居)日帰り旅行

10月23日(木)第3回目の今回は27名の参加となりました。ゆうばえ看護師・井口真紀さんのお話のあと、田浦温泉の湯に身をほぐし楽しい1日となりました。

・東日本大震災復興状況視察

9月19日(水)から1泊2日で、震災から2年を経過した「いわき市」と「会津若松市」を赤十字奉仕団西区14分団長の倉林さん(新中浜町内会長)が参加し、両市の復興・被災状況を視察してきました。

予告

海拔表示板の設置!!

10自治町内会の各ポイントに海拔表示板の設置を26年度に計画しています。

日常生活の中で海拔を意識し、いざというときに避難の目安としてください。

あの人

生涯ラグーマン

スポーツ功労賞を受賞して

内野西新町自治会

羽下

仁(67)



私がラグビーを始めたのは、今から約五十年前新潟商業高校へ入学してからです。前の新潟国体(昭和三十九年)に高校生で出場し、新潟県が総合優勝しました。この年は新潟地震・東京オリンピックがあり忘れられない思い出になりました。

十年後に「不惑」と「ラグビースクール」を創り、現在新潟市ラグビー協会会長とラグビースクール校長と毎週土日曜日と忙しく動き回っています。「不惑」は年令でパンツの色が違います。四十代(白)五十代(紺)六十代(赤)七十代(黄)新潟の八十代(紫)は八人と全国で一番多く活躍しています。年四回の交流会、五回の定期戦と毎月遠征をしています。スクールは小学一年生から中学三年が毎週木・土日曜練習しています。大会・遠征も五回程行っています。今年花園に出場する新潟工業高校にも多く入部しています。

今後、日本で開催するラグビーワールドカップ、東京オリンピックに出場する選手が生まれる事を非常に楽しみにしています。



西内野の子どもたち

歌会始入選

今年のお題「静」

「続かない話題と話題のすきまには

君との距離が静かにあった」



東京学館新潟高等学校
バレットタウン西新潟自治会

加藤 光一

「歌会始の儀」が一月十五日に皇居で行われました。

全国と海外から合わせて二万二千六百八十首の一般応募があり、入選十首中の最年少として入選し、皇族方の歌とともに詠み上げられました。

最初に「静」について短歌を作れと言われた時、普段の日常のことについて書くとしたら友だちと遊んでいる時の事を思い出して、それを歌にしようと思いました。歌会始の時は、とても静かな場所で緊張しました。短歌の詠み方も独特で、自分の短歌すら、なんと詠んでいるかわかりませんでした。

天皇陛下に「いつから短歌を作り始めたの?」と聞かれて「高校に入ってから書道の時間で初めて作りました」と答えました。両陛下は優しい方で、とても話しやすい方でした。

西内野旧所めぐり

小丸山公園の歴史



新中浜町内は昭和四十五年新都市計画法の制定により市街化区域となりました。そこで地権者有志による町造りが議論されて、その構想が具体化するや、地権者二百三十名の同意を得るために

奔走し、全員の同意を得ることができ、昭和四十六年六月設立準備総会で宅地造成に伴って小丸山・中浜公園の設置が決定しました。この地は中権寺の畑だったので中権寺自治会で公園管理を行っていましたが、平成に入り新中浜町内会に公園整備管理が移りました。当町内では一年に二回草刈り、公園周辺の落葉清掃を行い、公園の美しさを守っています。

記 倉林 正喜

編集後記

自然災害をはじめ原発、平和、暮らしなど多くの人が不安や息苦しさを感じる日本の社会情勢ではないでしょうか?

日本・新潟、そして西内野で安心して暮らせる条件は?条件づくりは?第一歩はまず日常普段からご近所、自治会・町内会とのつながりを密にすることが大切なようです。いわゆる「地域力を高める」ことです。

(H・K)